

三宅なほみメモリアルシンポジウム

「未来の学びを展望するーICT と学習科学が支える新しい学習環境のデザイナーー」

来る5月29日は、故三宅なほみ先生の一周忌にあたります。先生のやってきたこと、やりたかったであろうことの中には、すでに大きな実をなしつつあるものから、これから先に向けて新しい可能性を拓きうるものまでたくさん未来の種がありました。これらの種をもう一度お皿の上に乗せて、今の私たちにだったらどう活用できそうか、様々な分野の専門家の先生方と未来の学びの展望を開いていくような会を企画しました。

1. 日時 平成28年5月29日（日）
午前の部 10：00 から 12：30（9：30 受付開始）
午後の部 13：30 から 16：40（13：00 受付開始）
2. 場所 東京大学 本郷キャンパス 福武ホール (<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access/>)
都営大江戸線／東京メトロ丸の内線「本郷三丁目駅」徒歩8分

3. プログラム

午前の部 体験ワークショップー未来を拓く学びのテクノロジー

オープニング・トーク 白水 始（東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 機構長）		
ワークショップ1 ロボットと学ぶ教室 ロボットを教室での対話型の学びに持ち込んだら何が見えてくるのか。「人ロボット共生学」の研究から、ロボットと学ぶ、ロボットを通して学びをデザインする体験を通じて考えます。 (各回定員12名)	ワークショップ2 「学習遷移評価支援ツール」体験 対話型の授業における生徒の学びをどう評価するか。CoREFの提案として、テキスト化された対話をキーワード検索することで学びの評価を試みるツールを体験いただけます。 (各回定員16名)	ワークショップ3 「対話テキスト化」ツール体験 対話を自動でテキスト化する技術はどのくらい実装可能なか。CoREF、富士通、河合塾三者が開発中の対話テキスト化による授業支援ツールの試作品を体験いただけます。 (各回定員12名)

※各ワークショップは前後半2回実施いたします。参加は先着申込順です。参加者以外も見学可能です。

※ワークショップと平行して、シアターでは三宅なほみ先生の講演の映像を上映します。

午後の部 シンポジウムー私たちが描く未来の学びー

私たちが描く未来の学びーCoREFのビジョンー [東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構]
【提案1】社会で求められるスキルをどう測っていくか [(学) 河合塾・日本産学フォーラム]
【提案2】学びのツールが教室を変える [CoREF 連携自治体から実践者の先生方]
【提案3】対話テキスト化を中心にした授業支援ツールの開発 [(株) 富士通]
【提案4】「人ロボット共生学」が夢見たもの [「人ロボット共生学」研究者]
パネル・ディスカッション 4つの提案を基に様々な分野の専門家の先生方と学びの未来を描きます。
全体討論

4. 懇談会

終了後、17：30より東京大学山上会館で懇談会を行います（参加費3,000円）

主催 東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構
協力 学校法人河合塾 富士通株式会社